

日本農芸化学会2012年度大会

ランチオンセミナー LS14

サントリーウエルネス株式会社

【日時】 3月25日(日) 12:30-13:20

【会場】 C01会場(C校舎 5F C501)

【演題1】

インフルエンザ感染症 ～その感染様態と免疫～

高橋 和郎 (大阪府立公衆衛生研究所・副所長兼感染症部長)

インフルエンザは主に患者の咳、くしゃみの中のウイルスを含んだ微小な粒子である飛沫や飛沫核を鼻腔や口腔から吸い込むことにより感染、発症する疾患で、毎年各地で猛威を奮っている。インフルエンザ感染初期に最も有効な防御要因は気道に産生されるIgA抗体である。しかし、現行の皮下接種ワクチンは血中には特異IgG抗体を誘導するが、気道にはIgA抗体を誘導しないので、発症を防御する有効性はやや劣るという現状がある。本セミナーでは、インフルエンザの感染様態の詳細と、体内での免疫システムを有効に用いた感染への対処について紹介する。

【演題2】

プロテクト乳酸菌と免疫機能

井田 正幸 (サントリーウエルネス株式会社 健康科学研究所)

Lactobacillus pentosus S-PT84株は厚い細胞壁を持っており、高温培養ではその壁がさらに厚くなることが明らかになっている。我々は細胞壁の厚い乳酸菌群を“プロテクト乳酸菌”と呼称し、免疫機能に対する効果を継続して検証している。本セミナーでは、プロテクト乳酸菌の機能について、いくつかデータを紹介したい。

【司会】

北川 義徳 (サントリーウエルネス株式会社 健康科学研究所)

Suntory Wellness

サントリーウエルネス株式会社 健康科学研究所

〒618-8503 大阪府三島郡島本町若山台1-1-1 [TEL] 075-962-6207 [FAX] 075-962-1690